

校内点描 2017.11.10 校内の彫刻作品(2)「未来への出発」

本校の本館校舎の前庭に据えられたブロンズの彫刻作品「未来への出発(たびだち)」です。作者は本校(普通科美術専門コース)の卒業生で、現在鹿児島大学教育学部教授を務められている池川直(すなお)氏です。

池川氏は日展会員、日本彫刻会員、白日会員で、その作品は国内外に設置されています。県内では、菊池寛通りの「戯曲父帰るの一情景」の他、高松中央公園、峰山公園、高校、中学校など。

2017年度の日本彫刻会展覧会では最高賞である西望賞、さらに日展で文部科学大臣賞を受賞されました。



絶妙なバランスで立っている作品です。これから大空へ上昇するかののような姿勢。二人の顔に注目すると不安や躊躇する気持ちも感じとれます。若者の未来は安逸とは限らず、不確実性、危うさも存在します。しかし、現状に留まってばかりはいられない。一歩踏み出さなければならぬ現実が迫っています。不安を抱えながらも、未来に飛翔する後輩たちに向けた作者からのエールが込められているようです。